

## 広島高速5号線事業の状況について

### 1 要旨・目的

広島高速道路公社が進めている広島高速5号線事業の状況について報告する。

### 2 現状・背景

高速5号線については、本線部においてシールドトンネル工事、2号線-5号線の連結路において橋梁工事を進めている。シールドトンネル工事については、令和3年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しており、地表面変位の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

### 3 概要

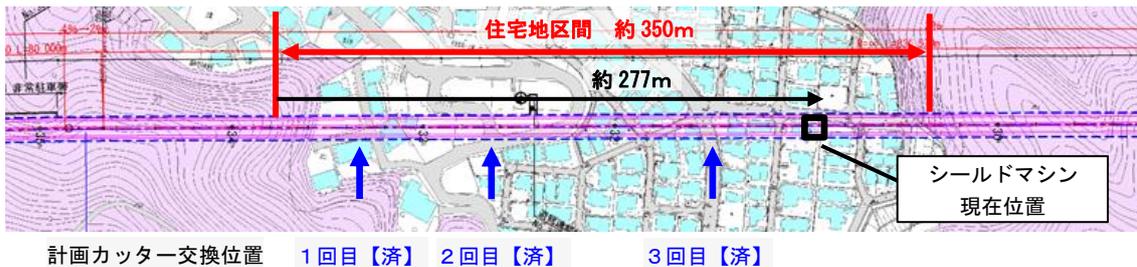
#### (1) 対象者

—

#### (2) 事業内容（実施内容）

##### ア シールドトンネル工事の状況

- 8月12日時点において、住宅地区間約350mのうち約277m地点（シールドトンネル工事延長約1,400mのうち約920m地点）に到達している。また、8月7日の掘削において、カッターを固定する部品（ナット）を回収したことから、住宅地区間で8回目の臨時点検を行っている。
- 掘削時の騒音・振動について、個別訪問により住民の意見や感じ方を聞取りするなど丁寧な対応を行っており、引き続き、住民のニーズに沿って柔軟に対応する。また、2週間に1回開催している安全・安心対策協議会に加え、住民からの要請を受けて開催することとした「協議の場」（適宜、県・市も同席）において地元住民と話し合いを行いながら工事を進めている。



##### イ 広島高速道路公社運営会議の開催結果

- 公社事業の適正かつ能率的な推進を図るため、広島高速道路公社運営会議を7月21日に開催し、公社から高速5号線の整備状況、今後の事業展開等について説明があった。
- その中で高速5号線事業のうち、2号線-5号線の連結路については、入札不調や工法の変更に伴い工程に遅れが生じ、令和6年度の完成が困難となっていることから今後工期の見直しが必要との説明があった。

##### (ア) 広島高速道路公社運営会議委員

広島県知事 ※会長	湯崎英彦	
広島市長	松井一實	
国土交通省中国地方整備局長	中崎 剛	(代理出席) 道路部長 門間俊幸
広島商工会議所会頭	池田晃治	(代理出席) 副会頭 高場敏雄
広島高速道路公社理事長	熊谷 鋭	

**(イ) 委員からの主な意見**

- 2号線-5号線の連結路を含め高速5号線については、都市圏の発展のため重要な路線であるので、住民の安全・安心を第一に確保しつつ、出来るだけ早期の完成に努めてもらいたい。
- 3月に開通した東広島・安芸バイパスが接続する広島南道路（明神高架）の整備が進んできており、仁保出入口に交通を集中させない対策として、高速2号線の東雲出入口の南向きランプと仁保-東雲間の暫定2車線区間の4車線化が必要。早期事業化に向けて取り組んでももらいたい。

**(3) 予算（単県）**

令和5年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 650百万円

**(4) 今後の対応**

事業主体である公社や広島市と連携し、2号線-5号線連結路の工期等の見直しに係る整備計画変更について国など関係機関との調整を進めるとともに、引き続き住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。